



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月22日

上場会社名 ブルドックソース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2804 URL https://www.bulldog.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石垣 幸俊
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画室長 (氏名) 犬塚 太郎 (TEL) 03(3668)6821
 四半期報告書提出予定日 2021年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,560	3.7	750	37.1	1,049	30.8	728	38.3
2020年3月期第3四半期	13,079	0.8	547	53.7	802	19.5	526	△16.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 882百万円(15.8%) 2020年3月期第3四半期 762百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	54.28	—
2020年3月期第3四半期	39.28	—

(注) 当社は、2019年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	26,345	20,229	76.8	1,506.80
2020年3月期	25,830	19,809	76.7	1,477.00

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 20,229百万円 2020年3月期 19,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2021年3月期	—	17.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	3.3	750	17.2	1,010	△2.9	720	4.0	53.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	13,954,880株	2020年3月期	13,954,880株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	529,450株	2020年3月期	543,016株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	13,419,860株	2020年3月期3Q	13,411,872株

1. 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

2. 当社は、2019年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。期中平均株式数(四半期累計)については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2021年3月期をスタートとする3年間の中期経営計画「B-UP120」の基本方針に従い、「創業120周年を機に新たなステージへ向けグループ力を磨き上げるためグループ力・社員力の最大化を目指す」に取り組んでおります。

現在当社グループを取り巻く市場環境は、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞により非常に厳しい状況が続いておりますが、当社グループは新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、あわせて上記基本方針への取り組みを強化しております。

新型コロナウイルス感染防止対策といたしましては、昨年4月にブルドックソース株式会社取締役会において当面の取り組みを決議し公表いたしました。その決議に基づき生産・物流拠点における衛生管理の更なる徹底、営業・管理部門では在宅勤務を基本とする各種対策を徹底してまいりました。さらに危機管理委員会を中心として危機管理体制をより強化しております。

また、上記中期経営計画「B-UP120」の基本方針に対する取り組みといたしまして、昨年4月に人員や予算等を業務用営業部門から家庭用営業部門にシフトし、市場環境の変化に対応しております。内食需要やテイクアウト需要の増加に対応するため「だし香るおうちで本格お好み焼きセット」を緊急発売し、またオンライン料理教室の実施、ランチメニューの提案を強化してまいりました。さらにオウンドメディア事業を強化し、家庭内での調理を簡単・楽しくするレシピコンテスト、キャンペーン「お家で楽しむ GOTOグルメ旅」をWEB上で展開し、若年層に積極的にアプローチしました。

一方で種々の業務改革、働き方改革に伴う諸制度の改定、当社グループのシナジー効果を高めるための業務の見直しや改革を引き続き徹底してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3.7%増の135億6千万円となりました。その内訳ですが、ソース類（ウスター・中濃・とんかつ、専用他）は前年同期比9.1%増の87億9千8百万円、ドレッシング類・たれ・ケチャップ他は前年同期比2.8%増の22億5千2百万円と順調に推移致しましたが、業務用商品に関しましてはテイクアウト・惣菜メニュー等の積極的な提案、新規得意先獲得を強化した営業活動を展開したものの市場環境は厳しく、前年同期比11.1%減の25億8百万円となりました。

営業利益は、減価償却費の増加等減益要因はあったものの、増収効果および業務の生産性向上による経費削減等により前年同期比37.1%増の7億5千万円、経常利益は前年同期比30.8%増の10億4千9百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比38.3%増の7億2千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億1千4百万円増加し、263億4千5百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて7億9千3百万円増加し、102億1千2百万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べて2億7千9百万円減少し、161億3千2百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて9千4百万円増加し、61億1千5百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて8千6百万円増加し、39億9百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が増減したものの繰延税金負債、退職給付に係る負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べて7百万円増加し、22億5百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて4億2千万円増加し、202億2千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,301	4,497
受取手形及び売掛金	4,365	4,945
商品及び製品	514	512
原材料及び貯蔵品	134	172
仕掛品	16	12
その他	86	70
流動資産合計	9,419	10,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,653	2,511
機械装置及び運搬具（純額）	2,104	1,910
土地	2,784	2,784
建設仮勘定	58	116
その他（純額）	134	145
有形固定資産合計	7,734	7,468
無形固定資産	63	41
投資その他の資産		
投資有価証券	7,738	7,808
繰延税金資産	145	140
その他	738	682
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	8,613	8,622
固定資産合計	16,411	16,132
資産合計	25,830	26,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,410	1,657
電子記録債務	331	351
短期借入金	30	30
1年内返済予定の長期借入金	250	153
未払法人税等	163	185
未払費用	1,120	1,089
賞与引当金	205	106
その他	310	336
流動負債合計	3,823	3,909
固定負債		
長期借入金	429	327
繰延税金負債	820	882
退職給付に係る負債	866	910
役員株式給付引当金	22	29
執行役員退職慰労引当金	14	19
長期未払金	15	15
その他	28	19
固定負債合計	2,198	2,205
負債合計	6,021	6,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	14,982	15,235
自己株式	△653	△639
株主資本合計	17,938	18,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,882	2,035
退職給付に係る調整累計額	△11	△11
その他の包括利益累計額合計	1,870	2,024
純資産合計	19,809	20,229
負債純資産合計	25,830	26,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	13,079	13,560
売上原価	6,382	6,597
売上総利益	6,696	6,963
販売費及び一般管理費	6,149	6,212
営業利益	547	750
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	191	191
投資有価証券売却益	45	109
その他	22	6
営業外収益合計	259	307
営業外費用		
支払利息	2	3
保険解約損	—	4
その他	1	0
営業外費用合計	4	8
経常利益	802	1,049
特別利益		
関係会社清算益	—	11
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	11
特別損失		
固定資産除却損	2	2
投資有価証券評価損	28	0
その他	4	—
特別損失合計	34	3
税金等調整前四半期純利益	768	1,056
法人税等	241	328
四半期純利益	526	728
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	526	728

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	526	728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	234	153
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	235	153
四半期包括利益	762	882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	762	882
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。